

公益財団法人柏崎地域国際化協会 令和5年度事業計画書

令和2年度からの新型コロナウイルス感染症のため、講座等への参加人数は以前には届いていませんが、感染対策を講じた語学文化講座や日本語教室の継続、講座の Web 配信など、新しい生活様式に対応した事業を進めてきました。

協会の設立目的は多文化共生の地域づくりです。それは、世界の全ての人が、国や人種・文化の違いを超えて互いを認め合い、心豊かに暮らせる社会を作ることであると考えます。日本に住む外国人の方々に対して、地域の重要な担い手としての期待がますます高まっています。柏崎でも外国人住民の数が増えることが予想されます。

地域の方々と協働で、日本文化に基づく情報を、分かりやすく伝える工夫をしていきます。相談活動や情報発信の充実をさらに図り、多文化共生を意識した事業を進めていきます。また、日本人と外国人との理解の橋渡しを担う言語文化サポーターの育成を継続して進めます。

国連の提唱する持続可能な開発目標 SDGs(エスディージーズ)を意識して、目標に沿った活動を続けます。

公益目的 地域国際化事業

7,223千円

1 国際化に関する事業(定款第4条1項(1))SDGs



3,518千円

国際協力貢献

官公庁及び大使館提出書類の翻訳、柏崎市を多言語で PR するための事業等の翻訳通訳などに協力します。友好都市を含む世界の地域との交流に関する文書翻訳や通訳など、事業協力を行います。言葉の協力をするすることで、人や国の不平等をなくすために協力します。

語学文化講座

人材育成のための講座で、英語(初級・中級)、韓国語を開講します。換気のできる教室で、密にならないよう座席などにも配慮し、講座を進めます。言語と共に文化も学ぶことは、より深い理解につながり、言語の基礎を理解することになるからです。昨年度まで実施していた中国語講座は、多文化理解講座としてシリーズで実施します。

多文化理解講座

日本の風習習慣も世界のことも知る講座です。外国出身者が柏崎地域で自信を持って活躍してほしい、住んでいる地域のことをもっと知ってほしいとの思いで、講師から外国の文化紹介や、言語文化サポーターの協力による日本文化体験などを行います。特に、互いの交流の場の充実を工夫します。また、引き続き、学校へ出向むいて実施する多文化共生の出前講座を企画・支援します。

また、コミュニケーションの手段として有効な「やさしい日本語」についての講座を企画します。

2 情報の収集提供事業(定款第4条1項(2))SDGs



1,028千円

多言語情報

国際化の事業をよく知ってもらうために、また、地域住民へ安心安全を伝えるために、協会のホームページを充実させます。フェイスブックとの連動を図り、言語文化サポーターの協力で、生活や防災に役立つ情報をやさしい日本語、英語をはじめ、他の外国語でも発信できるよう、今の取組を推進します。また、動画での配信について検討します。

柏崎を世界に発信するための活動にも協力します。

広報啓発

世界を意識した国際活動に興味を持ってもらうために、当協会の活動報告や事業周知をする、国際化協会ニュースを発行します。多文化共生理解を地域に広めることを目的としています。

3 活動協力育成(定款第4条1項(3))SDGs



1,212千円

人材育成

多文化共生社会の中での橋渡しのできる人材を育成します。地域で頼りになる言語文化サポーターの育成を続け、活躍できる場を地域と連携して造ります。災害時外国人支援研修では、外国人をサポートする人材の研修を充実させます。情報が届かず被災者になってしまう人々を、少なくするためです。密にならないような環境で研修できるよう、仕組みも考えて実施します。

民間協力

誰にでも気軽にできる国際協力として、市民と共に取り組んでいる活動です。家にある外国コインをお寄せいただき、公益財団法人日本ユニセフ協会(日本での国際連合児童基金)に送り、世界の子どもの命と健康、権利を守る活動に役立ててもらっています。未使用の切手・はがき、書損じはがき及び使用済切手やテレフォンカードなどを集めています。それを、特定非営利活動法人シャプラニールに送り、主にバングラデシュやネパールの人々の生活向上を目指した活動にいかしています。また、国際関係を学ぶ団体やインバウンド推進の研修会などへの講師依頼に応じます。地域と連携し、公正で平和に向かうための活動になるよう協力します。

4 地域協働支援(定款第4条1項(4))SDGs



1,465千円

生活相談

外国関連の生活相談に対応します。地域住民の人権を守ることにつながるからです。通訳を必要とする行政の事務や学校などに、依頼があれば通訳を派遣します。相談者の不安を取り除き、解決に向けて、より専門的な機関へつなぐ役割を担います。オンラインを活用した相談活動の充実を図ります。

日本語支援

日本語学習を続けることは、学習意欲が高まること、日本理解が進むこと、職業を得ることにつながるなど、地域での生活がより豊かになります。社会人、技能実習生、中学高校生を対象に、日本語教室を昼夜開講します。十分に感染予防の対策をとり、教室を準備します。この教室は一つの居場所となっていて、心の安定につながっています。講師は、日本語指導に十分な知識と経験を積んだ言語文化サポーターが務めています。また、新たな担い手を育成する研修に力をいれます。

柏崎市教育委員会から依頼を受けた場合、研修を受けた方を日本語指導員として推薦します。外国にルーツを持つ子どもたちが、質の高い教育にたどり着けるようにするためです。

法人管理業務

1,029千円

理事会、評議員会、監事会、執行役員会の開催、法人の運営に関する事務局経費です。